

平成21年山梨県観光客動態調査結果 概要

調査方法 ～ 全国観光統計基準(日本観光協会)に基づく調査 ～

【観光客数調査】：816地点

- ・観光施設への調査
自然(山岳、湖等)、文化歴史(神社、美術館等)、産業観光(ワイナリー等)、温泉、買い物、イベントなど、県内の観光地や観光施設に対して、来客の利用状況を調査
- ・データ利用調査
高速道路及び県営有料道路利用状況、道路交通センサス、県警登山者数調査

【宿泊客数調査】：1,450施設

- ・ホテル・旅館、民宿、ペンションなど県内の宿泊施設に対して、宿泊客利用状況を調査

【アンケート調査】：3,542サンプル

- ・対面聞き取り方式
- ・四季毎に、年4回×県内8箇所にて調査
- ・主な質問項目：性別、年齢、居住地、旅行目的、消費動向、利用交通機関、満足度等

平成21年における本県観光の動態動向

～ 観光客数・宿泊客数調査結果より ～

・観光客数は実人数で47,138千人となり、前年の47,529千人と比べ391千人(0.8%)減少した。宿泊客数は5,920千人となり、前年の6,314千人と比べ393千人(6.2%)減少した。

・前年後半からの経済不況により宿泊を伴う旅行を抑える傾向が見られ、4月以降の新型インフルエンザの影響も加わったことが減少の大きな要因となった。

・その中で「花と名水 美し色の山梨キャンペーン」(4～6月)期間中の5月、6月は前年より増加し、9月も大型連休が生じたことで大幅増となった。

・観光消費額は3,744億円となり、前年比13.4%の減少となった。観光客数、宿泊客数の減少に加え、1人当たりの観光消費額も減少している。1人当たりの観光消費額の減少は、飲食費や買い物費を抑える傾向が強まったためと見られる。また、交通費も減少しているが、これは、自動車を利用した観光客の多い本県で「ETC休日割引制度」による有料道路通行料の減やガソリン代が高騰した昨年に比べ安定してきたことが要因であると推測される。

・外国人観光客は、観光客数が908千人で前年比4.4%増加、宿泊客数が219千人で前年比5.3%増加した。

(参考)

※国土交通省まとめ「主要旅行業者の旅行取扱状況速報(主要旅行業者63社の取扱額の合計)」

H21年1月～12月国内旅行 前年比 11.6%減

※国土交通省「宿泊旅行統計調査結果(H21年1月～12月:確定値)」

全国延べ宿泊者数 前年比 2.7%減(山梨県 5.1%減)、

外国人延べ宿泊者数 前年比 17.8%減(山梨県 11.5%増)

※JTB推計 H21旅行総消費額(国内旅行) 前年比 7.8%減

～ アンケート調査結果より ～

■観光客の居住地

・「県外(外国人含む)」観光客が69.6%、「県内」観光客が30.4%。県外観光客は前年に比べ1.1ポイント増加した。都道府県別で見ると、前年より東海、近畿以西、新潟・北陸など宿泊を期待できる遠方地域からの割合が増えている。

■観光客の交通手段

・県内、県外を含めた全体での利用交通機関は、「マイカー」(74.9%)が最も多く、次いで「鉄道」(14.5%)、「観光バス」(3.6%)となっている。

■旅行目的(複数回答)

・旅行目的を、「県内」「県外」別にみると、「県内観光客」は「祭り・イベント」(50.3%)が最多で、「県外観光客」は「自然を楽しむ」(36.4%)、「行楽(遊園地、観光施設等)」(29.6%)と続く。

■県外客の訪問頻度

・前年に比べ、「1年に1回以上」の割合が高くなっている。これは、居住地の分布と考え合わせると、近県からのリピーター客が多いことが要因と思われる。

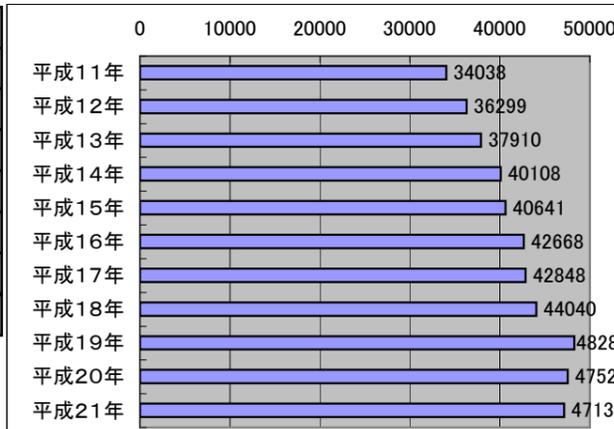
観光客数 47,138千人 (前年比 0.8%の減少)

(平成21年1月～12月)

～平成20年に比べ、約391千人の減少～

※四捨五入のため数値は一致しない

観光客数 (実人数)	H21年(千人)		H20年(千人)		対前年	
	人数	構成比	人数	構成比	増減	対前年
峡中	12,483	26.5%	12,864	27.1%	380千人減	97.0%
峡東	7,170	15.2%	7,509	15.8%	339千人減	95.5%
峡南	2,784	5.9%	2,761	5.8%	23千人増	100.8%
峡北	6,906	14.7%	6,966	14.7%	60千人減	99.1%
富士・東部	17,795	37.8%	17,430	36.7%	365千人増	102.1%
外国人観光客数	908		870		38千人増	104.4%



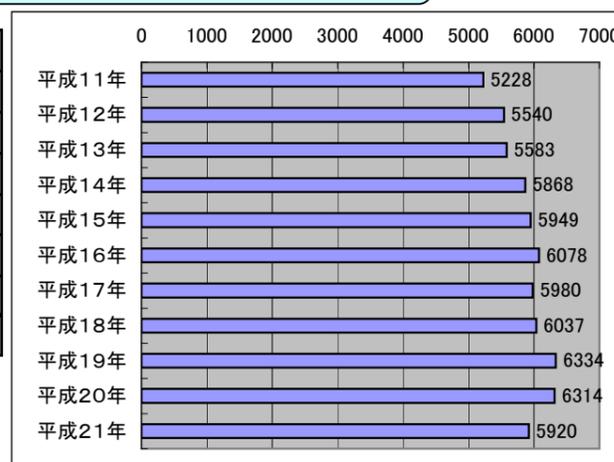
宿泊客数 5,920千人 (前年比 6.2%の減少)

(平成21年1月～12月)

～平成20年に比べ、約393千人の減少～

※四捨五入のため数値は一致しない

宿泊客数 (実人数)	H21年(千人)		H20年(千人)		対前年	
	人数	構成比	人数	構成比	増減	対前年
峡中	634	10.7%	676	10.7%	42千人減	93.8%
峡東	1,035	17.5%	1,130	17.9%	95千人減	91.6%
峡南	286	4.8%	288	4.6%	2千人減	99.3%
峡北	733	12.4%	760	12.0%	26千人減	96.5%
富士・東部	3,231	54.6%	3,460	54.8%	228千人減	93.4%
外国人宿泊客数	219		208		11千人増	105.3%



観光消費額 3,744億円 (前年比 13.4%の減少)

(平成21年1月～12月)

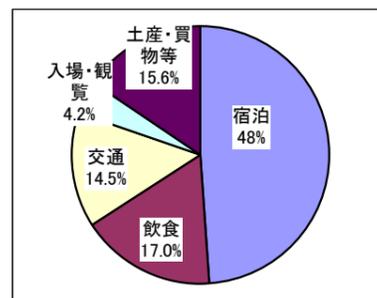
～平成20年に比べ、約577億円の減少～

※四捨五入のため数値は一致しない

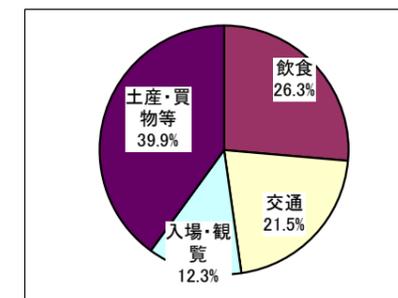
観光消費額	H21年(億円)		H20年(億円)		対前年	
	消費額	構成比	消費額	構成比	増減	対前年
宿泊	1,280	34.2%	1,463	33.9%	183億円減	87.5%
日帰り	2,463	65.8%	2,859	66.1%	396億円減	86.1%

1人当たり 観光消費額	H21年		H20年		対前年	
	消費額	対前年	消費額	対前年	増減	対前年
宿泊	7,942 円	87.4%	9,092 円	93.3%	1,150円減	93.3%
日帰り	21,626 円	86.2%	23,170 円	86.2%	1,544円減	86.2%

宿泊客の平均観光消費額の内訳



日帰り客の平均観光消費額の内訳



観光消費額推移 単位:億円

